



平成30年3月1日 現在
 総世帯数 7,519世帯
 総人口 16,936人
 男 8,428人
 女 8,508人

「松本国際高等学校」開校

4月から村井駅前に

松本国際高等学校が開校します。

開校にあたって、

創造学園高等学校の

壬生義文校長先生より

メッセージが届いています。



自然光を多く取り入れた明るい教室

芳川地区の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
 この度本校は創造学園高等学校改め「松本国際高等学校」の名称でJR村井駅前に新規移転開校することとなり、皆様方のお仲間入りさせて頂くこととなりました。

本校は次世代を担うリーダーの輩出を目指して、文武両道・人間力の育成をモットーに今日まで発展して参りました。

全国トップレベルの男子バレー部を筆頭に野球部・サッカー部といった運動系クラブの活躍とマンガアニメ・環境福祉・Webクリエイターといった特色豊かな専門科の存在という今日までの実績と伝統に加えて、松本国際高等学校では新たにより高いレベルでの学問の追求を目指したコースも新設



設備が整った体育館

して、個性豊かな教育による国際社会に通用する人材育成を目指して新たな挑戦をして参ります。

同時に、地域に根差した学び舎として文化祭等学校開放の機会も増やし、皆様方とも積極的に連携交流を図って愛され親しまれる学園として共に発展躍進して参りたいと思います。

創造学園高等学校

校長 壬生 義文



楽団「ケ・セラ」による 『勇気と希望と 感動のコンサート』

3月9日(金)芳川公民館大会議室において、楽団「ケ・セラ」の人權啓発ふれあいコンサートが行われました。小雨まじりの春の日、参加者と共にゆったりとした午後のひと時を過ごしました。プログラムは、子ども達に人気の「ひよっこりひよったん島」やオーケストラ曲「新世界」など全10曲が披露され、最後はアンコール曲にも応えて下さり全員で「ふるさと」を合唱しました。軽快な曲と共に、皆さんの日頃の練習成果が充分に見られ、勇気と希望と感動を与えて頂きました。



楽団「ケ・セラ」とは…
障がいを持つ方が音楽を通じて、自立できるように取り組むNPO法人ケ・セラの活動です。
平成15年10月に発足し、芳川公民館や芳川地区福祉ひろばにおいて活動を行ってきました。現在は出川町に拠点を移し、年間40回以上の公演を行っています。



▲明治30年代の撮影か？

芳川の今昔物語 第25話 旧村井学校(豊)跡、 その昔……

明治8年に建てられた村井学校の校舎で、明治44年に旧芳川小学校校舎が落成するまで使用されていた。橋下の堰は村井宿東用水で、道路は北国脇往還善光寺街道である。

現在……
中央にある枝垂桜は当時のまま、古木になっているが元気に花を咲かせている。豊跡記念の櫻の碑と、当初から設置運営に功績のあった、中村宗治郎翁の頌徳碑が往時を偲ばせている。



▲平成30年3月10日撮影



親子わくわくクッキング教室

3月4日(日)、芳川地区食生活改善推進協議会主催の「親子わくわくクッキング教室」が行われました。飯田市・旭松食品(株)の林順子さんを講師に招き、21名が参加し、子どもでも簡単にできる高野豆腐を使った調理に挑戦しました。
2時間の教室では、含め煮、肉巻き、ポトフ、ホットケーキの4品を作りました。お母さんたちが見守るなか、子どもたちは真剣なまなざしで、てきぱきと楽しそうに調理をしていました。「おいしくできた」と満足そうに食べる子どもたち。「高野豆腐つて含め煮以外にも料理法があつたんですね。子どもの成長も確かめられました。また家でも子どもと作ってみます」と一緒に参加したお母さんたちも嬉しそうにしています。

たちばなし

今年は、日本海側の記録的な大雪や都心での積雪、都内で水道管が凍結したり、5年ぶりに諏訪湖の御神渡りが確認されるなど、冬らしい冬になった。

寒い冬の楽しみは、早起きをしてストーブを焚くことだ。薪が燃える匂いとパチパチとはじける音。10数年の野良生活の後、3年前から家族の一員になったネコが傍らに座っている。ゆらめく炎を見ていると、人も動物も癒されるといふ。

今はこんなゆったりした朝の時間が持てるようになったが、会社勤めをしていた頃とはにかく忙しかった。家事は母任せにして、家と会社の往復をするだけの生活が続いた。繁忙期には、家にいても仕事の段取りで頭の中がいっぱいだった。

還暦を過ぎて、これからしたい事は沢山ある。若い頃からしたいと思いつながらできなかった習い事、遠方の友人と一緒の旅など。親の介護もあるだろう。健康に気をつけながら、スローで充実した日々を送りたい。もう3月。ストーブの季節ももうすぐ終わる。